

# 新型コロナウイルス感染症対策

## 保健所本部



## 新型コロナウイルス感染症対策保健所本部業務概要

令和元年12月に中華人民共和国湖北省武漢市で初めて報告され、世界的な流行となっている新型コロナウイルス感染症（COVID-19）は、国内においては令和2年1月15日、本市においては3月1日に初の感染者が判明した。

本市においては、2月3日に市長を本部長とする「船橋市新型コロナウイルス感染症対策本部」を設置し、市役所全体で対応している。さらに保健所内においては、2月26日に「船橋市新型コロナウイルス感染症対策保健所本部」を設置し、感染状況に応じて段階的に人員の増員等を図りながら、様々な対策を実施している。

### 1 相談窓口の設置

令和2年1月以降、保健総務課結核感染症係にて新型コロナウイルス感染症に関する相談への対応を開始した。1月25日以降は、土・日曜日も開設し、増加する相談に対応してきた（集計を始めた1月16日～2月6日の相談件数は240件）。

2月7日には、「船橋市新型コロナウイルス感染症相談センター（帰国者・接触者相談センター）」を保健所に設置し、2週間以内に湖北省（武漢市を含む）への渡航歴がある人や、渡航歴がある人との濃厚接触者、不安を持つ市民等からの相談に対応するため、土・日・祝日を含む午前9時から午後5時まで受付時間を拡大したが、さらなる相談数の増加を受け、2月28日からは土・日・祝日を含む午前8時から午後8時まで受付時間を拡充した。

令和2年7月1日から、午前9時から午後7時まで（土・日・祝日は午前9時から午後5時まで）に受付時間を変更して対応を継続している。

相談数

（単位：件）

期間	相談数
令和2年2月7日～令和2年3月31日	6,004
令和2年4月1日～令和3年3月31日	60,529

## 2 帰国者・接触者外来等における受診調整及び患者搬送

帰国者・接触者相談センターへの相談等を通じて、新型コロナウイルス感染症を疑う者がいた場合に、帰国者・接触者外来を有する医療機関及び発熱外来を有するクリニック等に受診調整し、PCR 検査のため検体を採取した。当該医療機関名や場所等については、国及び県において非公表とされた。

また、患者等が受診する際は必要に応じて自宅から医療機関までの搬送、採取した検体の輸送を行った。

### 帰国者・接触者外来等受診調整数及び患者搬送数

(単位：件)

期間	受診調整数	患者搬送数
令和2年2月7日～令和2年3月31日	140	27
令和2年4月1日～令和3年3月31日	10,999	5,279

※患者搬送数には、感染者の入院・ホテル入所・診察のための搬送等を含む。

## 3 PCR 検査体制

「帰国者・接触者外来」において患者から採取した検体、医療機関から依頼のあった検体及び入院患者の陰性確認のための検体を千葉県衛生研究所に輸送し PCR 検査を依頼して実施した。また、令和2年3月11日からは、保健所にて市独自に PCR 検査を開始した。

令和2年4月21日からは、市医師会の協力のもと「PCR 検査外来（ドライブスルー方式）」を開始し、検査体制の強化・拡充を図っている。

また、令和2年6月10日からは、市内医療機関と行政検査実施の委託契約を締結し、直接かかりつけ医等の医療機関へ相談・受診のうえ、検査を行う体制を整備した（令和3年4月1日時点の契約医療機関数：104 機関）。

### (1) 令和元年度

#### ① 千葉県衛生研究所実施分

(単位：件)

期間	区分	検査 依頼数	検査結果	
			陽性	陰性
令和2年2月7日～3月10日 (※3月13日実施分 2件含む)	帰国者・接触者外来	61	3	58
	入院患者の陰性化確認	10	5	5
	計	71	8	63

※令和2年4月以降、千葉県衛生研究所への検査依頼なし。

## ② 保健所検査室実施分

(単位：件)

期間	区分	検査数	検査結果	
			陽性	陰性
令和2年3月11日～3月31日	帰国者・接触者外来等	119	3	116
	入院患者の陰性化確認	14	5	9
	計	133	8	125

## (2) 令和2年度

### ① 保健所検査室実施分（PCR検査外来（ドライブスルー方式）分含む）

(単位：件)

期間	検査数	検査結果	
		陽性	陰性
令和2年4月1日～令和3年3月31日	22,801	3,094	19,707

### ② PCR検査外来（ドライブスルー方式）分

(単位：件)

期間	検査数	検査結果	
		陽性	陰性
令和2年4月21日～令和3年3月31日	9,125	1,002	8,123

※令和2年4月21日～ ドライブスルー方式（鼻咽頭ぬぐい液）

令和2年12月9日～ ドライブスルー方式（唾液）を追加

令和3年1月22日～ ウォークスルー方式（唾液）を追加

### ③ 契約医療機関実施分

(単位：件)

期間	検査数	検査結果	
		陽性	陰性
令和2年6月10日～令和3年3月31日	32,243	1,838	30,405

## 4 医療提供体制等

### (1) 感染症病床の確保

新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じた対応及びその他の疾患の患者に対する医療の確保を適切に図る観点から、千葉県が定めた病床確保計画に基づき、市内医療機関において令和3年4月1日時点で114の病床を確保している。

## 入院状況

(単位：人)

期間	延入院者数
令和2年3月1日～令和2年3月31日	6
令和2年4月1日～令和3年3月31日	1,122

### (2) 宿泊療養施設の運営

重症化リスクが高い人や中等症・重症患者への医療提供体制の確保とともに、自宅で待機している軽症者からの家庭内感染を防ぐため、市独自に令和2年4月30日から市内のホテル（船橋第一ホテル）を借り上げて、軽症者を受け入れる体制を整備した。

また、令和3年1月15日から2棟目のホテル（船橋シティホテル）を借り上げて、増加する陽性者（無症状者・軽症者）の受け入れ体制の強化を図っている。

ホテルの運営にあたっては、医師会から推薦を受けた医療機関が入所者への医療を提供する仕組みを整えるとともに、開設当初から入所者自身が血中酸素濃度（SpO2）を健康観察以外でも測定できるようパルスオキシメーターの貸し出しを行うなどし、入所者の症状急変時にも対応できる体制を構築している。

### 入所等実績

施設名	期間	区分	実績
船橋第一ホテル	令和2年4月30日～令和3年3月31日	実入所者数	1,415人
		延受診件数	1,714件
船橋シティホテル	令和3年1月15日～令和3年3月31日	実入所者数	191人
		延受診件数	211件

### (3) 自宅待機者への支援

入院等療養先調整中の自宅待機者の健康状態や症状の変化を迅速に把握するため、自宅待機者が自宅において自身で血中酸素濃度（SpO2）を測定するパルスオキシメーターの配送を行い、自宅療養中の健康管理に活用している。

当初、宿泊療養施設使用分と合わせて100台確保し、令和3年4月現在で410台確保している。

#### ① パルスオキシメーター貸出実績

(単位：台)

区分 年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	
令和2年度	1	0	0	3	20	0	1	0	33	166	84	96	404

また、自宅待機者のうち、同居者、近親者等の支援を受けられない者に対し、健康観察期間中における生活必要物資等の確保として、配食サービスを令和3年3月19日から

開始した。

## ② サービス利用実績

(単位：件)

年度	区分	件数
令和2年度		1

## 5 感染予防策の普及・啓発

### (1) 飲食店向けの周知

令和2年7月17日「接待を伴う飲食店」・「カラオケ」店舗等への感染対策の注意喚起の文書とチェックリストを送付した。

### (2) 民間企業従事者向けの周知

市内事業所でのクラスター発生を受け、事業所における感染拡大防止のためのチェックリストを作成し、感染対策の徹底について注意喚起を行った。また、外国語対応のホームページを紹介する等、外国人従業員を含む全従業員に対して感染対策の周知を依頼した。

### (3) 広報（保健所情報誌「Face To Health 新型コロナウイルス感染症対策特別号」の発行）

市の感染の状況や感染対策に関する情報などについて掲載した保健所情報誌「Face To Health 新型コロナウイルス感染症対策特別号」を定期的に発行した。

## 6 感染拡大防止の取り組み

### (1) クラスター（集団感染）対策

クラスターにならないための感染拡大防止策として、感染予防の徹底に加え、高齢者施設、医療機関、学校、保育園、企業等（以下「職場等」という。）での日々の健康観察等が重要であるため、その適切な方法等について、関係部署と連携体制をとり、周知、指導等を行っている。

職場等においてPCR検査等を受けることが判明した段階から職場等と連携をとり、体調不良者の確認等を行うなど、早めの情報収集に取り組んでいる。また、陽性者が判明した場合には、積極的疫学調査の中で、感染症対策の取り組み状況の確認、感染拡大しないために必要な措置及び指導等を実施している。

### (2) シミュレーション訓練

市内の高齢者及び障害福祉サービス事業所における新型コロナウイルス感染症発生時の対応について、実際に発生した際に速やかな対応ができるようシミュレーション訓練を令和2年10月に実施し、27施設が参加した。

### ① 対象施設

#### 高齢者福祉サービス

- ・施設系（介護老人福祉施設（短期入所生活介護）、介護老人保健施設（短期入所療養介護）、有料老人ホーム）
- ・通所系（通所介護、地域密着型通所介護、通所リハビリテーション）

#### 障害福祉サービス

- ・施設系（障害福祉施設、短期入所、共同生活援助）
- ・通所系（生活介護、自立訓練、就労移行支援、就労継続支援、就労定着支援、自立生活援助）

### ② 訓練内容

- ・施設は保健所からのメールが送付された当日中に施設の概要や担当者、その時点での体調不良者数を簡易的に報告する「感染症（疑い）発生連絡票」（様式1）を提出し、翌日までに入所者（利用者）や職員の体温・体調を記入する発生状況報告用紙（様式2）・施設の平面図及び食事の座席表等の提出を行った。
- ・様式2等と併せて、施設は保健所が作成した感染対策の状況を確認するチェックリストを入力し提出、保健所から施設に対しフィードバックを行った。

### (3) 高齢者施設等入所前検査

重症化リスクの高い高齢者施設等の入所者への新型コロナウイルス感染を防ぐため、令和2年12月1日から新規入所者に対し、入所前のPCR検査を実施した。

検査実績（令和2年12月1日～令和3年3月31日）

検査実施施設数 (うち陽性発生施設数)	検査実施延べ件数 (うち陽性件数)
61 施設 (1 施設)	345 件 (1 件)

### (4) 高齢者施設等従事者検査

本市において高齢者施設等でクラスターが複数発生していたこと、施設に入居している高齢者が感染すると重症化するおそれが高いことや医療提供体制への負荷が増大することが懸念される等の観点から、検査による感染の早期発見が重要であるため、令和3年3月に高齢者施設等の従事者に対し、PCR検査を実施した。

検査実績（令和3年3月1日～3月31日）

検査実施施設数 (うち陽性発生施設数)	検査実施延べ件数 (うち陽性件数)
129 施設 (4 施設)	9,002 件 (4 件)



## 7 マスク・ガウン等医療用資材の配付

令和2年3月頃から、新型コロナウイルスの感染が急速に拡大したことや、依存傾向にあった海外からの輸入が停止してしまったことから、市内医療機関の医療用資材の備蓄が急激に不足したため、市保健所として即時支援を行うべく、各医療機関に不足状況を聞き取り、用途や使用する対象者等に応じた資材を市保健所の備蓄から緊急配付を始めた。

その後、市対策本部会議において、医療を守ることを最優先し、市備蓄マスクについて医療機関、高齢者施設等への最優先配付を決定し、3月末までに市内医療機関へマスク（サージカルマスク、N95マスク等）を計25万枚以上、ガウン（アイソレーションガウン、サージカルガウン、ポンチョ等）を計2,700着以上配付した。累計では、マスク約50万枚、ガウン27,000着以上を配付した。その中には企業や市民の方から寄贈いただいた物品も含まれており、有効活用した。

また、国が決定した「新型コロナウイルス感染症に関する緊急対策一第2弾」の中で、品薄状態にあるマスクを国が一括購入し、県経由で市から必要な医療機関に優先配付することとした。国が県の備蓄状況及び人口を勘案して送付量を決定するにあたり、県が市における状況等の意見聴取を行い、市保健所にて各医療機関のニーズを把握し、配付数や配付する製品の調整等を行った。

令和2年8月頃から、サージカルマスク、アイソレーションガウン等について、医療機関等の在庫状況がおおむね改善傾向にあることから、医療機関への配付数は減少したが、クラスターが発生した医療機関等に配付を続けている。

令和3年4月1日現在も、特に非滅菌手袋（ニトリルグローブ）とN95マスクについては、需給状況や民間商流が安定していないため、医療機関等において必要量の確保が困難となる状況が生じた場合、直ちに送付できるよう備蓄を継続している。

## 8 新型コロナウイルスワクチン接種

令和2年10月23日付けで厚生労働省から「新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の実施について」が通知され、ワクチンは承認されていない段階であったが、承認・供給され次第速やかに接種を開始できるように準備を進めることとされた。

これを受けて本市では、新型コロナウイルス感染症対策保健所本部の中にワクチン接種班を12月1日に新設し、接種体制の整備を本格化させた。

接種体制の検討に当たっては市医師会と協議を重ね、普段から持病や服薬状況を把握しているかかりつけ医や身近な地域の医療機関で接種することが望ましいと考え、全て医療機関での個別接種方式「船橋モデル」で実施することとした。

国が当初示していたスケジュールでは、3月下旬～4月上旬に高齢者向け優先接種を開始するために接種体制を確保することとされていたことから、ワクチン接種に関する相談や案内を行うコールセンターを2月15日に開設し、高齢者向け接種券を3月中に発送できる準備を行った。

なお、ワクチンの供給が当初示されていたスケジュールから遅れたため、令和2年度中に実施されたのは医療従事者向け先行・優先接種までで、高齢者向け優先接種は行われなかった。